

令和4年度病虫害発生予察予報第7号（10月）

令和4年10月6日  
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

| 作物名              | 病虫害名                                      | 予想発生量※                                                                                                                                                                   |
|------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カンキツ類<br>(温州ミカン) | そうか病<br>黒点病<br>ミカンハダニ<br>カメムシ類            | 少(中央)<br><u>やや多(中央)</u><br>平年並(中央)<br><u>やや多(中央)</u>                                                                                                                     |
| カンキツ類<br>(中晩柑類)  | そうか病<br>黒点病<br>かいよう病<br>ミカンハダニ<br>カメムシ類   | 平年並(西)、少(東、中央、中西)<br><u>多(中央、中西)</u> 、平年並(東)、やや少(西)<br><u>やや多(中央)</u> 、平年並(中西)、少(東、西)<br><u>多(東)</u> 、 <u>やや多(中西)</u> 、平年並(中央)、少(西)<br><u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(東、中西、西)</u> |
| 促成ナス             | 黒枯病<br>ミナミキイロアザミウマ<br>ハスモンヨトウ<br>タバココナジラミ | <u>多(中央)</u> 、少(東、西)<br>やや少(中央)、少(東、西)<br><u>多(東)</u> 、 <u>やや多(中央)</u> 、平年並(西)<br>やや少(東、中央、西)                                                                            |

※ ( ) 内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部  
県東部：安芸市、室戸市および安芸郡の町村  
県中央部：高知市、南国市、香美市、香南市、長岡郡・土佐郡の町村、  
吾川郡いの町および高岡郡日高村  
県中西部：土佐市、須崎市、高岡郡(日高村を除く) 町村および吾川郡仁淀川町  
県西部：四万十市、宿毛市、土佐清水市および幡多郡の町村  
なお、野菜は「土佐市」を中央部に入れています

## I 気象予報（高松地方気象台 9 月 29 日発表）

10 月 1 日から 10 月 30 日までの天候の見通し

< 予想される向こう 1 ヶ月の天候 >

暖かい空気に覆われやすいため、向こう 1 ヶ月の気温は高いでしょう。気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期があるため、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

向こう 1 ヶ月の平均気温は、高い確率 50% です。

週別の気温は、1 週目は、高い確率 80% です。2 週目は、平年並の確率 50% です。3 ～ 4 週目は、平年並、高い確率とも 40% です。

< 向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%） >

| 期間   | 対象地域 | 要素   | 低い（少ない） |    | 平年並 | 高い（多い） |
|------|------|------|---------|----|-----|--------|
| 1 ヶ月 | 四国地方 | 気温   | 20      | 30 | 50  |        |
|      |      | 降水量  | 20      | 40 | 40  |        |
|      |      | 日照時間 | 40      |    | 40  | 20     |

< 気温経過の各階級の確率（%） >

| 期間       | 対象地域 | 低い |    | 平年並 | 高い |
|----------|------|----|----|-----|----|
| 1 週目     | 四国地方 | 10 | 10 | 80  |    |
| 2 週目     |      | 30 |    | 50  | 20 |
| 3 ～ 4 週目 |      | 20 | 40 | 40  |    |

< 予報の対象期間 >

1 ヶ月：10 月 1 日（土）～10 月 30 日（日）

1 週目：10 月 1 日（土）～10 月 7 日（金）

2 週目：10 月 8 日（土）～10 月 14 日（金）

3 ～ 4 週目：10 月 15 日（土）～10 月 28 日（金）

## II 病虫害発生予想

### 1 カンキツ（温州ミカン）の病虫害

#### 1) そうか病

**予 想** 発生量：少（中央部）

**根 拠**

(1) 9 月の調査では、発生面積は平年よりも少なかったが、発生程度は平年並であった。

(2) 10 月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されているが、時期的に果実の感染リスクが低いことから、現在の状況が続くと考えられる。

**対 策**

(1) 発生の多い園では黒点病との防除を兼ねて薬剤散布を行う。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

## 2) 黒点病

**予 想** 発生量：やや多（中央部）

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、発生面積、発病程度とも平年並であった。
- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

**対 策**

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除から25日以上経過するか、累積雨量が250mmを超えると薬剤散布を行う。

## 3) ミカンハダニ

**予 想** 発生量：平年並（中央部）

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、発生面積は平年よりも少なく、発生程度は平年よりも低かった。
- (2) 10月は気温が高く、日照時間は平年並か多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

**対 策**

- (1) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

## 4) カメモシ類

**予 想** 発生量：やや多（中央部）

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、一部のほ場で発生が見られているが、発生面積は平年よりも少なく、発生程度も低かった。
- (2) 9月の県中央部でのフェロモントラップへの誘殺数は、減少傾向ではあるが、平年よりも多かった。また、予察灯にも飛来が見られている。

**対 策**

- (1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら防除する。台風などによる強風の後、園地に飛来することもあるので注意する。

# 2 カンキツ（中晩柑類）の病害虫

## 1) そうか病

**予 想** 発生量：平年並（西部）、少（東部、中央部、中西部）

**根 拠**

- (1) 9月の調査では、県西部で発生が見られているが、発生面積、発生程度とも平年並であった。
- (2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されているが、時期的に果実の感染リスクが低いことから、現在の状況が続くと考えられる。

## 対 策

(1) 発生が見られる園では黒点病との防除を兼ねて薬剤散布を行う。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

## 2) 黒点病

**予 想** 発生量：多（中央部、中西部）、平年並（東部）、やや少（西部）

## 根 拠

(1) 9月の調査では、県下全域で発生が見られ、発生面積は県中央部、中西部で平年よりも多く、東部でやや少なく、西部で少なかった。発病程度は東部、中央部、中西部で平年並、西部で平年よりも低かった。

(2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されていることから、発生は増加すると考えられる。

## 対 策

(1) 密植園での間伐、老木の更新、防風林の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。

(2) 前回の防除から25日以上経過するか、累積雨量が250mmを超えると薬剤散布を行う。

## 3) かいよう病

**予 想** 発生量：やや多（中央部）、平年並（中西部）、少（東部、西部）

## 根 拠

(1) 9月の調査では、県中央部と中西部で発生が見られた。発生面積は中央部で平年並、中西部で平年よりもやや少なかった。発病程度はいずれの地域も平年並以下であった。

(2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されていることから、発生はやや増加すると予想される。台風の襲来があれば更に増加し、未発生地域においても発病が見られるようになると考えられる。

## 対 策

(1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病がみられる夏秋梢を剪定、除去する。

## 4) ミカンハダニ

**予 想** 発生量：多（東部）、やや多（中西部）、平年並（中央部）、少（西部）

## 根 拠

(1) 9月の調査では、県西部以外で発生が見られた。発生面積は、県東部で平年よりも多く、中西部で平年並、中央部で少なかった。発生程度は東部で平年よりも高く、その他の地域では低かった。

(2) 10月は気温が高いと予想されていることから、発生は増加し、現在発生が見られていない地域においても発生が見られるようになると考えられる。

## 対 策

(1) 薬剤抵抗性の発達を避けるため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

## 5) カメムシ類

**予 想** 発生量：多（中央部）、やや多（東部、中西部、西部）

## 根 拠

(1) 9月の調査では、県東部以外の地域の一部のは場で発生が見られ、発生面積は中央部で平年並、西部で平年よりもやや少なく、中西部で少なかった。発生程度はいずれの地域も平年並以下であった。

(2) 9月のフェロモントラップへの誘殺数は、減少傾向ではあるが、県東部、中央部、中西部で平年よりも多かった。西部では少なかったが、予察灯への飛来は平年よりも多い。

#### 対 策

(1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、園内をよく観察して、飛来を確認したら防除する。台風などによる強風の後、園地に飛来することもあるので注意する。

### 3 促成ナス

#### 1) 黒枯病

予 想 発生量：多（中央部）、少（東部、西部）

#### 根 拠

(1) 9月の調査では、県中央部で発生が見られ、発生面積は平年よりも多く、発病程度も高かった。

(2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されていることから、発生は増加し、未発生地域においても発生が見られるようになると考えられる。

#### 対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気によりハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

#### 2) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや少（中央部）、少（東部、西部）

#### 根 拠

(1) 9月の調査では、県東部と中央部で発生が見られ、発生面積は中央部で平年並、東部で平年よりもやや少なく、発生程度はいずれも平年より低かった。

(2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されていることから、発生は増加基調である。しかし、ほとんどのほ場でタバコカスミカメなどの天敵類が導入されており、天敵類の密度も高まると見込まれることから、発生は減少すると考えられる。

#### 対 策

(1) 防除効果が高い薬剤が少ないので、開口部のネット被覆（1mm目以下）を行うとともに、天敵昆虫の利用など、他の防除方法も組み入れる。

(2) 薬剤防除を行う場合、発生初期の防除を心がける。

#### 3) ハスモンヨトウ

予 想 発生量：多（東部）やや多（中央部）、平年並（西部）

#### 根 拠

(1) 9月の調査では、県東部と中央部で発生がみられ、発生面積は東部で平年よりもやや多く、中央部でやや少なかった。発生程度は東部で平年よりも高く、中央部

では平年よりも低かった。

(2) 9月のフェロモントラップへの誘殺数は、県中央部、中西部で平年よりも多く、西部でやや多く、東部でやや少なかった。

(3) 10月は気温が高いと予想されていることから、発生が増加すると考えられる。

#### 対 策

(1) 開口部にネット被覆を行い、成虫の侵入を防止する。

(2) 薬剤防除を行う場合、発生初期の防除を心がける。

#### 4) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや少（東部、中央部、西部）

#### 根 拠

(1) 9月の調査では、県東部と中央部で発生がみられ、発生面積はいずれも平年並で、発生程度はいずれも平年よりもやや低以下であった。

(2) 10月は気温が高く、降水量は平年並か多いと予想されていることから、発生は増加基調である。しかし、ほとんどのほ場でタバコカスミカメなどの天敵類が導入されており、天敵類の密度も高まると見込まれることから、発生は減少すると考えられる。

#### 対 策

(1) 防除効果が高い薬剤が少ないので、開口部のネット被覆（0.4mm目以下が望ましい）を行うとともに、天敵昆虫の利用など、他の防除方法も組み入れる。

(2) 薬剤防除を行う場合、発生初期に生長点付近を中心に防除を行う（成虫は新葉の葉裏に産卵する）。

**農作物の病害虫防除のための情報です。お気軽にご利用ください。**

病害虫防除所ホームページ（こうち農業ネット）

①病害虫発生予察月報、病害虫発生予察予報

②病害虫発生予察注意報、病害虫発生予察警報、病害虫発生予察特殊報

③病害虫発生予察技術資料

④新しく問題となっている病害虫 etc.